

平成29年度 大月市学校教育の指針

「新やまなしの教育振興プラン(平成26～30年度)」では、「未来を拓く『やまなし』人づくり」を基本理念として掲げ、「夢と希望に向かって自ら学び、考え、行動する『たくましい力』を育てる」「他者を思いやり、社会の絆を深める『しなやかな心』を育む」とする二つの基本目標を達成するための取組を推進していくこととしています。

本市教育委員会においては、この振興プランに基づいて策定された平成29年度山梨県学校教育指導重点と、大月市が平成27年6月に策定した「大月市の教育の大綱(大月市第2期教育振興基本計画)」を踏まえ、未来を担う子どもたちの「生きる力」の育成に向けた教育活動として下記に掲げる事項を今年度の教育指針としました。

つきましては、校長のリーダーシップとマネジメントの下、児童・生徒一人ひとりにきめ細かな指導を実践し、学校教育のさらなる充実と発展にご尽力をお願いします。

記

1 ふるさと教育の推進

- ・ 地域の歴史・伝統・文化・産業・自然について、地域の方々から学び、ふれあいを通して、郷土を大切にする心を育てる。
- ・ 大月市独自の教育施策を推進し、人間関係構築力、確かな職業観、望ましい生活習慣や学力向上の取組を通して、一人ひとりの個性を伸ばす。
- ・ 豊かな自然環境・人的環境を活かし、自然体験・勤労体験を位置づけた教育課程の編成と実践に努め、感性豊かな「たくましい子ども」の育成に努める。

2 「生きる力」を育む適切な教育課程の編成と実施

- ・ 小中連携により、児童生徒の実態を把握し、情報を共有するとともに、教育課程指導内容・指導方法について研究し、生活力・学力向上に向けた取組を推進する。
- ・ 中学校では、キャリア教育の「ねらい」を踏まえた上で、体験活動を大切にし、確かな職業観や主体的に進路を選択する能力や態度を育てる。
- ・ 平成29年度は、新学習指導要領の「周知・徹底」と位置づけられている。小学校外国語科等について、研究して効果的な導入のあり方について検討していく。

3 確かな学力を育む指導と評価

- ・ 教職員が学校の課題を共有し、課題解決に向けた授業研究等、具体的な取組を推進し、その検証と改善に努め、一人ひとりの指導力及び学校全体の教育力向上を図る。
- ・ 家庭と連携して学習習慣の確立を促し、子どもが、目標をもち興味をもって自ら課題解決に取り組むよう、家庭学習と授業を有機的に結びつける取組を進める。

- ・ 小中連携を推進し、個に応じた支援を実施するとともに、「やまなしスタンダード」の浸透を進める。

4 豊かな人間性を育む心の育成の推進

- ・ 子どもが自己存在感を感じる居場所づくりや、望ましい集団づくりを進め、いじめや不登校、暴力行為等のない楽しい学校生活の実現を図る。
- ・ 子ども、学校及び地域の実態を踏まえ、学校として育てようとする子どもの姿を明らかにし、道徳教育の重点目標や指導を設定した全体計画を作成する。
- ・ 学校・家庭・地域が連携しながら、学校と地域の実態を活かした取組を通して、自己有用感を高め、生命尊重や思いやり等、自他を敬愛する心の育成に努める。

5 健康・安全に関する資質や能力の育成

- ・ 自校の現状を適切に把握し、学校全体で課題を共有し、小学校にあっては運動の日常化を、中学校にあっては体力の向上を図るため、運動時間の確保に努める。
- ・ 学校教育活動を通して、健康教育の着実な推進を図るとともに、健康・安全（生活・交通・災害）及び食に関する教育の充実に努める。

6 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

- ・ 学校評価では、成果と課題、及び課題に対する改善策を、PTA 総会、学校便り、学校 HP 等で、家庭や地域に公表し PDCA サイクルで適切な評価と改善に努める。
- ・ 初狩小学校のコミュニティスクールの成果を共有し、保護者や地域が、学校教育活動に組織的・継続的に参加できる、開かれた学校づくりを推進する。